



1 「2025年大阪・関西万博」に 呼応した観光促進に関する取組

～万博を契機とした本市への誘客促進に向けて～

4月に開幕する「2025年大阪・関西万博」において、大阪府・大阪市万博推進局が実施する「大阪ウィーク」に参加し、本市の魅力を国内外の来場者に広く発信することを目的として、「新町だんじり」の展示および巡行のほか、飲食ブースでの観光案内所の出展を予定しています。

また、万博開催期間中には石橋小学校・呉服小学校による吹奏楽の演奏や本市の観光動画の放映を予定しており、これらの取り組みを通じて本市のPRに努めます。

今後も引き続き池田市観光協会と連携しながら各種観光施策の実施及びプロモーションを行っていきます。

内容

- ・万博会場での地元団体・事業者・小学校の出展、観光動画の放映
- ・観光パンフレットの多言語化
- ・府内観光PRイベントへの出展

実施時期

- ・令和7年度から



予算額

- ・事業総額 4,100千円
- 財源 みんなでつくるまちの寄付金



問い合わせ シティプロモーション課 Tel072・754・6244



2 こどもと保護者の相談専用ダイヤルを開設

～「18歳までのこどもなんでも相談窓口」～

国が掲げる「こどもまんなか社会」の実現をめざす取組の1つとして、子ども自身が相談できる窓口を設置し、周知に努めます。

18歳までの子どもと保護者を対象に専用ダイヤルで相談を受け付けます。

児童家庭相談専門員が悩みや困りごとを聞き、課題整理のお手伝いをします。

内 容

- ・18歳までの子どもと保護者からの相談に児童家庭相談専門員が対応
- ・受付時間は平日9時～17時、希望者は面談可能
- ・相談内容に応じて適切な関係機関や支援につなぐ

実施時期

- ・令和7年4月1日から

予算額

- ・なし

その他

- ・ホームページや広報誌で周知予定
- ・市内の学校園、こども園等にビラを貼付予定



問い合わせ 子ども未来課 TEL072・754・6401



3 多胎妊産婦と多胎児家庭への支援

～多胎児子育てサポート事業～

多胎児家庭は、同時に2人以上の妊娠・出産・育児をすることに伴う身体的・精神的負担や経済的な問題、孤立しやすい状況など、多胎児ならではの困難を伴いやすい状況にあります。

本市では現在、多胎妊産婦への支援として、妊婦健康診査助成券追加支給や4カ月児健診会場でのスタッフによる受診介助を実施していますが、新たに多胎妊産婦や多胎児家庭への家事・育児や外出時のヘルパー利用に対する助成を行うことにより、多胎妊産婦や多胎児家庭のさらなる負担軽減を図ります。

内 容

- ・多胎妊娠中20時間、産後2年まで40時間を上限とし、利用者負担は1時間500円、生活保護世帯等は減免制度あり
- ・買い物掃除などの家事、外出支援等、ご家庭の困り事や希望に合わせて利用内容を決定
- ・事業開始後に希望者の申請受け付けを開始



予算額

- ・委託料 2,550千円（ヘルパー事業所委託料）

その他

- ・ヘルパー事業所を公募予定
- ・府内では5市で多胎家庭へのサポーターやヘルパー等の派遣事業を実施（令和6年度）



問い合わせ 子ども未来課 Tel072・754・6034



4 学校給食費の無償化・食材費高騰対策

～保護者負担の軽減と学校給食の充実に向けて～

給食内容の充実や保護者の経済的負担軽減を目的に、令和7年度上半期において小学校、中学校および義務教育学校の給食費の無償化および学校給食の食材費への補助を実施します。

内容

- ・「小学校、中学校および義務教育学校の給食費の無償化」
(対象校：小学校9校、中学校4校、義務教育学校1校)
- ・「給食内容の充実」と「物価高騰対策」のための食材費への補助
(対象校：小学校9校、中学校4校、義務教育学校1校)

実施時期

- ・給食費の無償化（令和7年4月から令和7年9月までの6カ月間）
- ・食材費への補助（令和7年4月から令和8年3月までの1年間）

予算額

- ・事業総額 202,409千円
(給食費の無償化 143,840千円、食材費への補助 58,569千円)

その他

- ・大阪市、高槻市などで給食費の無償化を実施
- ・本市では、「令和7年度上半期の給食費の無償化」に加え、小学校、中学校および義務教育学校における「給食内容の充実」や「物価高騰対策」のための食材費への補助も合わせて1年間実施

問い合わせ 学校給食センター TEL072・751・8311

5 自分も相手も大切に

～思春期向け 性を学ぶ啓発冊子を通して～

思春期の子どもが、早い段階からフェムケアの理解を深め、自分のことも相手のことも大切にできるよう、性や自身の健康、ライフプランについて考える機会となるような啓発冊子を作成します。

内容

- ・自身の体について、子どものうちから知識を獲得しておくことは、将来の健康につながることから、「男女のからだの違い」「女性特有の病気」「妊娠や出産」などについて学べる冊子を作成
- ・思春期の子どもが、自分自身を大切にすること、また生涯を通じた健康と性について考える機会を提供
- ・原稿の作成に当たっては、本市ダイバーシティ推進アドバイザー・フェムケア担当の須田結花さんが協力

実施時期

- ・令和7年度内

予算額

- ・事業費 1,494千円



問い合わせ 人権・文化国際課 Tel072・754・6231



6 五月山緑地の整備に関する取組

～多様な主体が参画し「人」と「動物」が触れ合う動物公園をめざし～

昭和28年度から事業を開始した五月山緑地は、近年は「地域住民が一日中気持ちよく過ごせる子育てのまち池田を象徴する公園」を実現するために、官民連携によりカフェ・レストランを設置し、令和7年度中の開業をめざしています。

また、昭和32年の開園以来60年余りが経過した五月山動物園については、ウォンバットの「ワイン」が36歳を迎え、飼育下におけるウォンバットの世界最高齢記録を更新しているところに、姉妹都市であるオーストラリア・ローンセストン市から新たに2頭のウォンバットを受け入れるとともに、高齢者や子ども連れがゆっくりと滞在できる空間をつくり、これまで以上に魅力ある動物園をめざして引き続きリニューアル工事を進めます。

内容

- ・五月山緑地基本計画策定時に実施したワークショップにおける市民や利用者ニーズを反映し、飲食などの滞在スペースとして「カフェ・レストラン」を誘致
- ・老朽化した五月山動物園のリニューアルを実施中
- ・姉妹都市であるオーストラリア・ローンセストン市から新たに2頭のウォンバットを受け入れ など

実施時期

- ・令和6年度 ウォンバットゾーンの整備
- ・令和7年度 新しいウォンバットの受け入れ
民間カフェ・レストランの設置



予算額

- ・事業総額 190,972千円
- ウォンバット受入れ事業 10,428千円
- 五月山緑地橋梁定期点検、法面補強工事、管理棟改修工事ほか 180,544千円

その他

- ・今後は令和8年度にエントランスゾーンの整備を行い、五月山動物園の開園70周年に合わせて全園開園をめざす

問い合わせ みどり農政課 Tel072・754・6275



7 自転車用ヘルメット購入費の一部補助

～安全をかぶろう、未来を守ろう！～

ヘルメットを着用していない場合、事故による重傷や死亡のリスクが高まることが統計的に示されており、本市においても自転車に関係する交通事故の割合が増加傾向にあります。

そこで、自転車用ヘルメット購入費の一部補助を行うことでヘルメットの着用を促進し、事故時の被害軽減および安全意識の向上を図ります。

内容

- ・申請時点で本市に住民票がある市内在住者（年齢制限なし）が対象
- ・令和7年4月1日以降に購入した新品の自転車用ヘルメットの購入費に補助
- ・頭部を保護する目的で製造の自転車乗車用ヘルメットで、安全認証等を受けた新品の物に限る
- ・補助額は、購入額の2分の1（上限2,000円）

実施時期

- ・令和7年度から

予算額

- ・補助金 1,000千円
財源 みんなでつくるまちの寄付金



引用元：大阪府交通対策協議会

第3回自転車の交通安全コンテスト最優秀賞

その他

- ・本市では、平成17年度から自転車マナーアップの取り組みとして幼児用自転車ヘルメットの無償配布を実施
- ・令和5年4月から全年齢でのヘルメット着用が努力義務化されたことから、支援の対象を拡大
- ・吹田市、茨木市なども自転車用ヘルメット購入補助を実施

問い合わせ 交通道路課 TEL072・754・6281